USB 2.0 / 1.1
HARD DISK UNIT

LHD-ExxU2シリーズ●
LHD-HxxU2シリーズ●

HDユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目　次

必ずお読みください

取扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
・本書は読み終わった後も、**必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。**

■表示について

・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

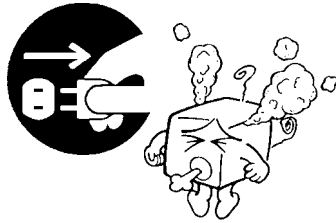
三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。

丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

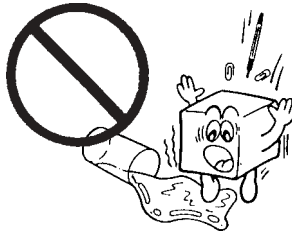
塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

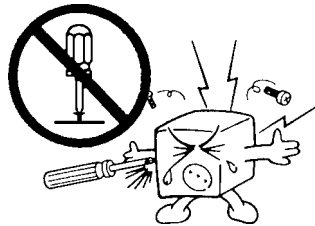
警告

●万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源コードをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

●異物を入れないでください。

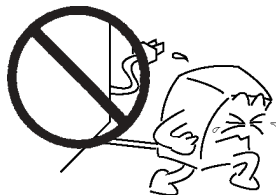
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

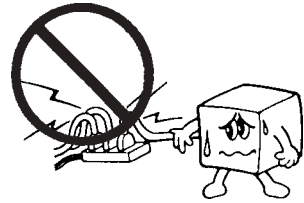
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

●分解しないでください。

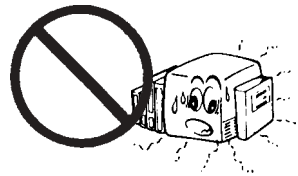
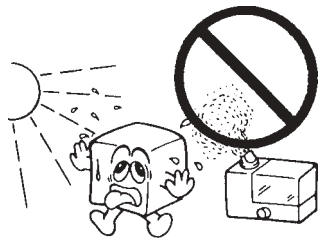
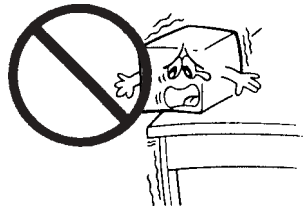
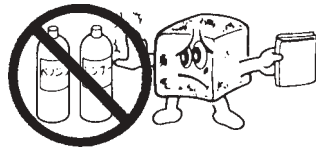
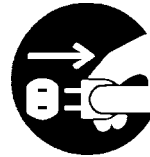
ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

●正しい電源で使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。

●電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電／火災の原因となります。

⚠ 注意

●電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。

●電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。

●通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。

●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

●本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。

●本製品を長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

付属品の確認

○ハードディスクユニット 1台
○ USB ケーブル（USB 2.0 High-Speed 対応）........ 1本
○縦置き用スタンド 2個
○横置き用ゴム足 1シート
○カラープレート 1枚
○ LogitecWare（CD-ROM）........ 1枚
○ HD ユニット・ユーザーズマニュアル .... 本書
○ハードウェア仕様一覧表 1枚
○保証書／ユーザー登録カード 1枚

※本製品は精密電子機器です。輸送時には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

＊MS®、Windows ®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定／接続方法、機能／仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

①本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

②本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

③本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

④本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

⑤本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

⑥本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

⑦弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

⑧本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

⑨本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第１章　製品のご紹介

１．１　製品の特徴

本製品はUSB 2.0 / 1.1 対応の外付け型ハードディスクユニットです。

■本製品の特徴

○USB 2.0 ポートにつなぐことによって、従来のUSB接続の約40倍（480Mbps）の高速転送を実現することができます。また従来のUSB 1.1ポートにも接続ができるので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。

○インターフェースとしてUSBを採用していますので、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONになっている状態での着脱）が可能です。必要になったときだけパソコンに接続し、バックアップや大容量データの交換などの用途に最適です。

○美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、さらに安定したパフォーマンスが実現されています。

参考

アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると熱く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。

○コンパクトで設置に場所を取りません。設置方向は縦置き／横置きのどちらも可能です。

重要なご注意

- **本製品を** USB 2.0 **ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、**USB 2.0**対応ケーブルを使用してください。**USB 1.1**用ケーブルで** USB 2.0 **ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。**
- USB 1.1 **ポートへ接続して使用する際は** USB 2.0 **ケーブル、**USB 1.1 **ケーブル、どちらでも構いません。**
- **本製品を**USB 2.0**で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず**USB 2.0**拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている**USB 1.1**ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ** Full-Speed（12Mbps）**となります。**

１．２　使用環境について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のような環境条件を満たしていなくてはいけません。

■対応パソコンについて

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべて USB ポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン側のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

○USB 1.1 ポートに接続する場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	iBook iMac Power Mac G4 Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3 (Blue and White) PowerBook G4、PowerBook (FireWire) PowerBook G3（BronzeKeyboard）

○USB 2.0 ポートに接続する場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

■対応 OS について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

◯USB 1.1 ポートに接続する場合

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

Mac OS 8.6 ～ 9.2.1 まで
Mac OS X 10.0.4 以降

◯USB 2.0 ポートに接続する場合

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

１．３　各部の名称と機能

1

①電源表示ランプ（青）

本製品の電源が ON になると内部のランプ（青）が点灯します。

②アクセス表示ランプ（赤）

本製品に対してアクセスが行われると内部のランプ（赤）が点灯します。

③ USB シリーズ B コネクタ

付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

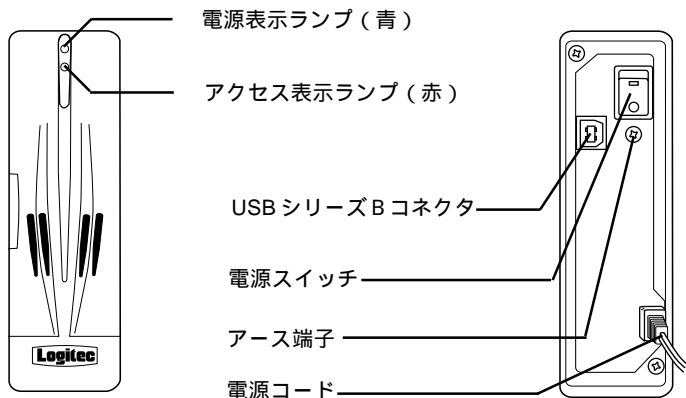
④電源スイッチ

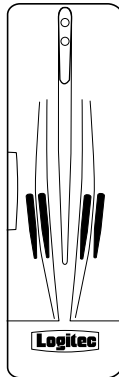
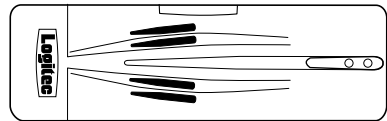
本製品の電源を ON/OFF します。

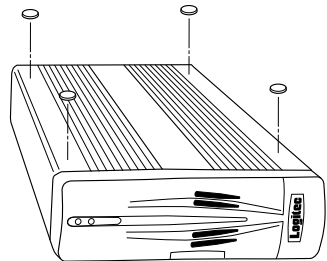
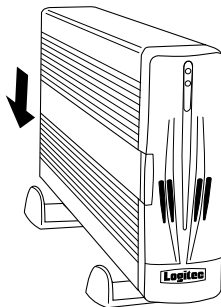
⑤アース端子

太い導線などで、パソコン本体のフレームグランド端子と接続してください。

⑥電源コード

AC100V のコンセントに接続します。

１．４　設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

縦置きの場合

横置きの場合

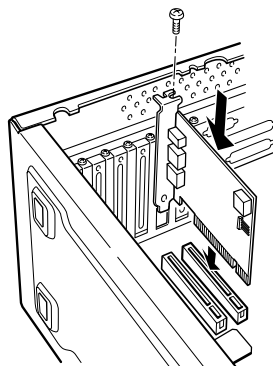
縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。（下左図）横置きの場合は、底面の４箇所に付属のゴム足を貼付してください。（下右図）

上図は底面を上にするため、設置方向と逆になっていますので、ご注意ください。

1

１．５　接続の前に

■ USB 2.0 インターフェースボードの接続

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りのUSB 2.0インターフェースボード（PCI用インターフェースボード、もしくはCardBus対応USB 2.0インターフェースカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にUSB 2.0インターフェースボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品をUSB 1.1ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の転送速度は従来のUSB 1.1と同じになります。）

USB 2.0インターフェースボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2	PCI	インターフェースボード単体

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM - CBUSB2	CardBus	インターフェースカード単体

第２章　Windows® Me，98 の場合

本章では、Windows Me，98環境での本製品の接続とインストールの手順をご説明いたします。接続先のパソコンにUSB 2.0 ポートがあるものとして説明を進めますが、ご使用のパソコンにUSB 2.0 ポートがない場合には、接続先をUSB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。

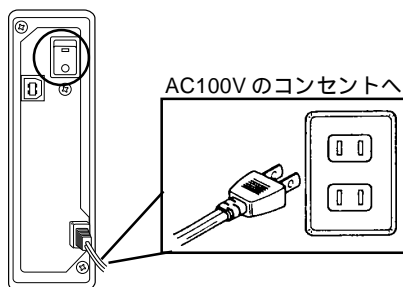
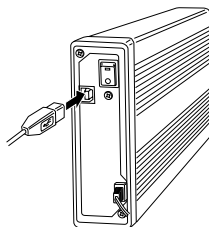
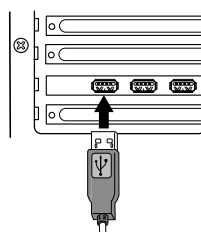
USB 1.1 ポートへ接続した場合、Full-Speed までの対応となります。

２．１　接続とインストール（Windows Me）

ここではWindows Me 上で本製品を接続して、ドライバをインストールするまでの手順を説明します。以下の手順はWindows Me のシステムが起動した状態で行います。

①本製品のアース端子と、パソコンのフレームグランド端子を太い導線などで接続してください。

②パソコン本体の電源をONにして、Windows Meのシステムを起動しておいてください。

③本製品背面の電源コードをＡＣ100Vのコンセントに接続して本製品の電源スイッチをONにします。

④本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズＢコネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。

本製品側
断面が正方形に近いコネクタ

パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

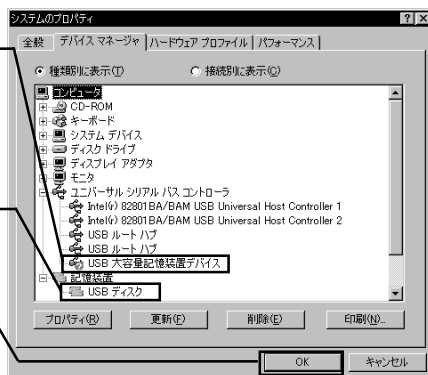
⑤Windows Meには本製品を使用するためのドライバが標準添付されているので、本製品がプラグ＆プレイで認識された後、ドライバの組み込みがすべて自動的に行われます。（ここではユーザーが操作を行う必要はありません。）

⑥以上で接続とインストールは終了です。ただし、現在の段階ではまだフォーマットが終了していないため、「マイコンピュータ」を開いても新しいハードディスクのアイコンは追加されていません。
インストール結果を確認したい場合は、「コントロールパネル」→「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。以下のように２個のデバイスが登録されていたら、インストールは正常に終了しています。

2

1.「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下に「USB 大容量記憶装置デバイス 」があることを確認。

2.「記憶装置」の下に「USBディスク」があることを確認。

3. 確認が終了したら「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じます。

次に本製品のフォーマットを行いますので２．３節へ進んでください。

参考

「USB大容量記憶装置デバイス」の表示に「？」マークが付いていますがこれは異常ではありません。

２．２　接続とインストール（Windows 98）

ここでは本製品を接続して、ドライバをインストールするまでの手順を説明します。以下の手順はWindows98のシステムが起動した状態で行います。

①本製品のアース端子と、パソコンのフレームグランド端子を太い導線などで接続してください。

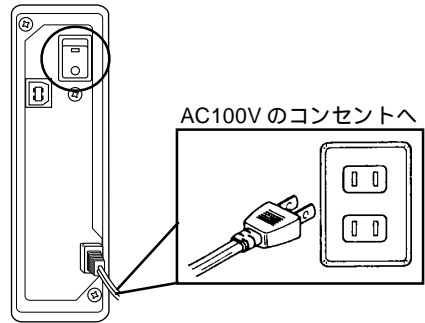
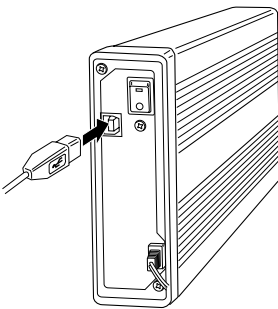
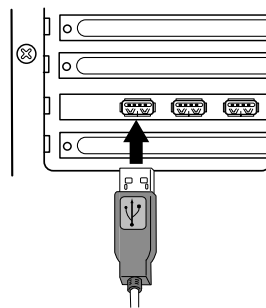
②パソコン本体の電源をONにして、Windows Meのシステムを起動しておいてください。

③本製品背面の電源コードをＡＣ100Vのコンセントに接続して本製品の電源スイッチをONにします。

④本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズＢコネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。

本製品側
断面が正方形に近いコネクタ

パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

2

⑤本製品がプラグ＆プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック

⑥右のウィンドウが表示されます。

1. **「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で**

2. **「次へ」をクリック**

⑦右下のウィンドウが表示されたら、CD-ROMドライブに本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをセットしてください。

Point

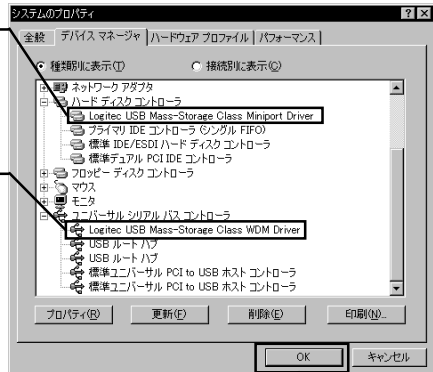
ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

⑧右のウィンドウが表示されます。

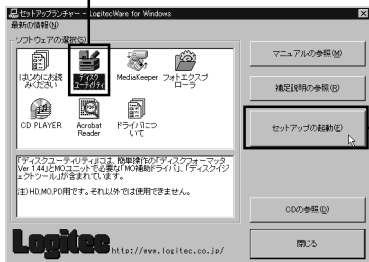
⑨必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

⑩以上で接続とインストールは終了です。ただし、現在の段階ではまだフォーマットが終了していないため､「マイコンピュータ」を開いても新しいハードディスクのアイコンは追加されていません。
インストール結果を確認したい場合は､「コントロールパネル」→「システム」を起動して､「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。次ページのように２個のデバイスが登録されていたら、インストールは正常に終了しています。
CD-ROM トレイから「LogitecWare」CD-ROM を取り出しておいてください。

次に本製品のフォーマットを行いますので、「２．３節に進んでください。

２．３　フォーマットについて

Windows Me，98 の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「ディスクフォーマッタ」で行います。

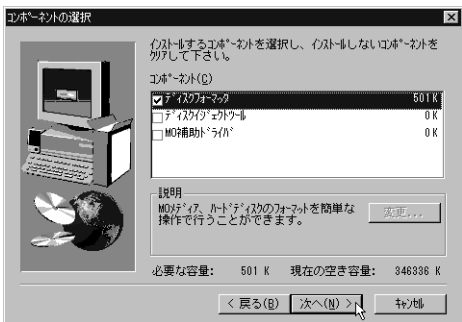
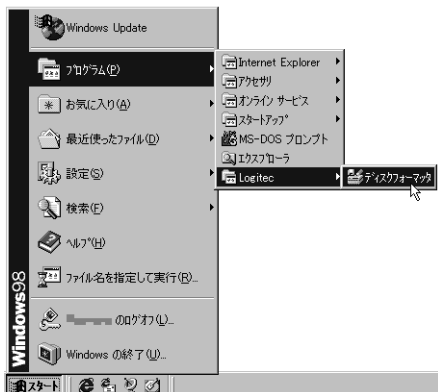
本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。（下図参照）

1.**「ディスクユーティリティ」のアイコンを１回クリックして、選択状態にします。**

2.**「セットアップの起動」をクリックします。**

ポイント

ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」以外にも、「ディスクイジェクトツール」と「MO 補助ドライバ」が含まれていますが、本製品を使用する上で必要なのは「ディスクフォーマッタ」のみです。（他のユーティリティをインストールしても特に害はありません。）

２．３　フォーマットについて

2

インストールが終了後、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」→「Logitec」とポイントし、「ディスクフォーマッタ」をクリックするしてディスクフォーマッタを起動させせます。

ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマッタのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」→「ハードディスクのフォーマット」をご参照ください。

ご注意

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマッタの物理フォーマットに関する機能は使用できません。

参考

また、インストール時、デスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。

２．４　本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとして USB を採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

①本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

②本製品を接続した状態では､タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして､表示されるメニューから､「USB ディスク - ドライブ(D:)の停止」または「停止 - [DiskDrive] ****** ****** D:」、を選択してください。

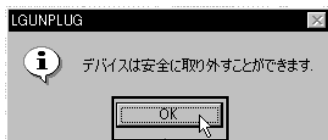
ポイント

- **「****** ******」には、本製品内容の HD ドライブ型番が入ります。型番は容量などによって異なります。**
- **「D:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。また、本製品がフォーマットされていない場合は、ドライブ名の文字（「D」の部分）が表示されません。**

④「'USB ディスクは安全に取り外すことができます」または、「デバイスは安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows Me の場合

「OK」をクリック

Windows 98 の場合

「OK」をクリック

⑤USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてから、電源コードをコンセントから外してください。

第３章　Windows® XP，2000の場合

本章では、Windows XP，2000 環境での本製品の接続とインストールの手順をご説明いたします。接続先のパソコンに USB 2.0 ポートがあるものとして説明を進めますが、ご使用のパソコンに USB 2.0 ポートがない場合には、接続先を USB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。

USB 1.1 ポートへ接続した場合、Full-Speed までの対応となります。

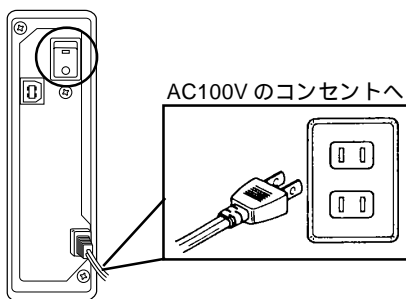
３．１　接続とインストール

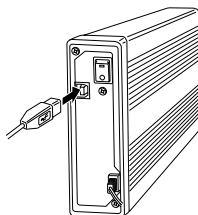
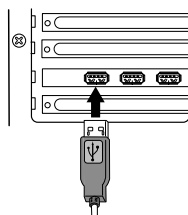
ここでは本製品を接続して、ドライバをインストールするまでの手順を説明します。以下の手順は Windows XP，2000 のシステムが起動した状態で行います。

3

①本製品のアース端子と、パソコンのフレームグランド端子を太い導線などで接続してください。

Point

②パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、管理者権限を持つグループ（例えば Administrators グループ）のメンバーとしてログオンしてください。

③本製品背面の電源コードをＡＣ100V のコンセントに接続して本製品の電源スイッチを ON にします。

④本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズＢコネクタと、パソコン側の USB ポートを接続してください。

本製品側
断面が正方形に近いコネクタ

パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

④ Windows XP，2000 には本製品を使用するためのドライバが標準添付されているので、本製品がプラグ＆プレイで認識された後、ドライバの組み込みがすべて自動的に行われます。（ここではユーザーが操作を行う必要はありません。）

⑤以上で接続とインストールは終了です。ただし、現在の段階ではまだフォーマットが終了していないため、「マイコンピュータ」を開いても新しいハードディスクのアイコンは追加されていません。
インストール結果は以下の手順で確認してください。

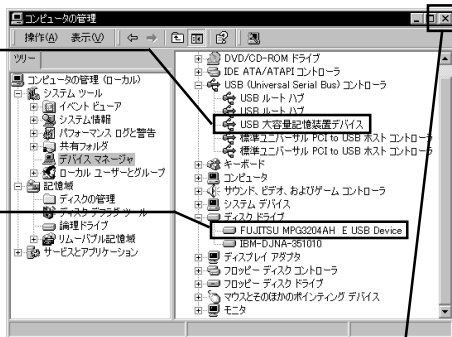
・Windows 2000 の場合

「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

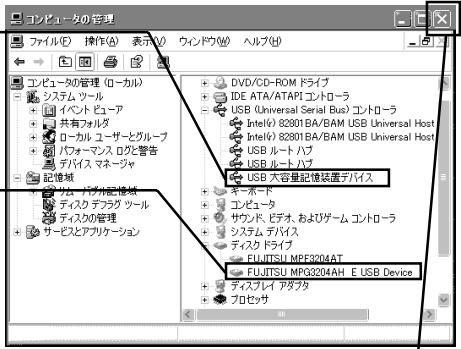
以下のように２個のデバイスが登録されていたら、インストールは正常に終了しています。

1.「USB（Universal Serial Bus)」コントローラの下に「USB 大容量記憶装置デバイス」があることを確認

2.「ディスク ドライブ」の下に「 ******** USB Device （USB Device で終わる項目）」があることを確認

3. 確認が終了したら、クローズボックス（×）をクリックして、ウィンドウを閉じます。

• Windows　XP の場合

スタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

以下のように２個のデバイスが登録されていたら、インストールは正常に終了しています。

次に本製品のフォーマットを行いますので、３．２節に進んでください。

３．２　フォーマットについて

Windows XP，2000 の場合、フォーマットは Windows 標準のユーティリティ「ディスクの管理」から行います。「ディスクの管理」でフォーマットを行う概略の手順は以下の通りです。

Point

ポイント

本製品付属 CD-ROM に保存された補足説明ファイルには、より詳細なフォーマット手順が記載されています。必要に応じてご参照ください。
＊下記のファイルをダブルクリックすると、お使いになっているブラウザ（インターネット閲覧ソフト）で内容を表示することができます。

ファイル名：　\Docs\Hdfmt2k.html　(Windows 2000)
ファイル名：　\Docs\Hdfmtxp.htm　(Windows XP)

3

①管理者権限を持つグループ（例えば「Administrators グループ」）のメンバーとしてログオンします。

②デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「管理」を選択します。

③「コンピュータの管理」のウィンドウが表されたら、コンソールツリー上で「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックします。

Point

ポイント

ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

④「ディスクの管理」が表示されたら、「不明」と書かれているディスクを右クリックして、表示されるメニューから、

「署名」を実行してください。（Windows 2000 の場合）
「ディスクの初期化」を実行してください。（Windows XP の場合）

⑤ Windows 2000 では、署名したディスクの「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、「パーティションの作成」を選択してください。

Windows XP では、初期化したディスクの「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、「新しいパーティション」を選択してください。

⑥「パーティションの作成ウィザード」（Windows 2000 の場合）または、「新しいパーティションウィザード」（Windows XP の場合)が起動したら、表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。

Point

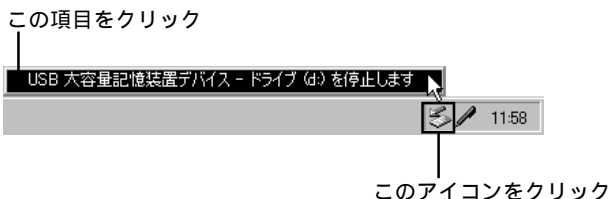
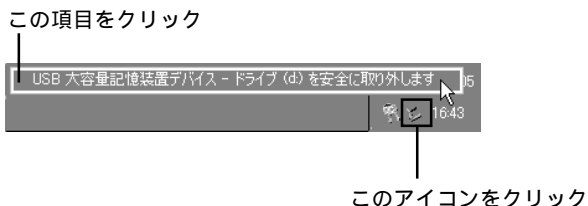
ポイント

「パーティションの作成ウィザード」の中で、作成するパーティションを「プライマリパーティション」にするか、「拡張パーティション」にするかを選択するステップがあります。
本製品では必ず「拡張パーティション」を選択し、拡張パーティションの中に論理ドライブを作成してください。

３．３　本製品を取り外す場合は

本製品をUSBインターフェースに接続した場合、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

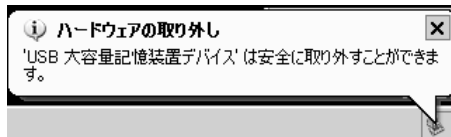
①本製品に保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

② Windows 2000では本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ（d:）を停止します」を選択してください。

Windows XPの場合は「「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ（d:）を安全に取り外します」と表示されます。

Point

ポイント

ここで「d:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。また、本製品がフォーマットされていない場合は、ドライブ名の文字（「d」の部分）が表示されません。

③ Windows 2000 では「'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます」と表示されたら、OKボタンをクリックしてください。

Windows XP では「'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます」とメッセージが表示されるので、フキダシの中をクリックしてください。

④ USB ケーブルを外し、AC アダプタを取り外してください。

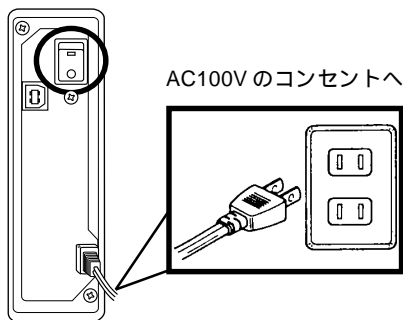
第４章　Macintosh®の場合

現在、Macintoshシリーズではは USB 2.0はサポートされていません。USB 1.1のFull-Speed（12Mbps）までの対応となります。

４．１　接続とフォーマット

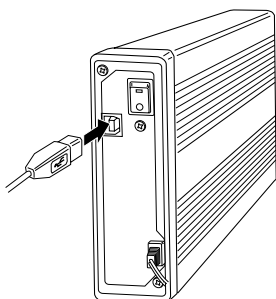
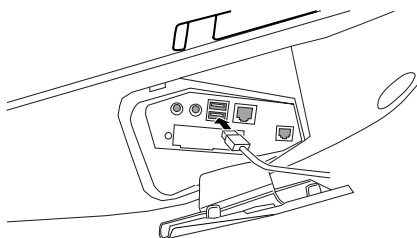
ここでは本製品のドライバをインストールしてフォーマットするまでの手順を説明します。

①パソコンの電源をONにして、システムを起動させてください。

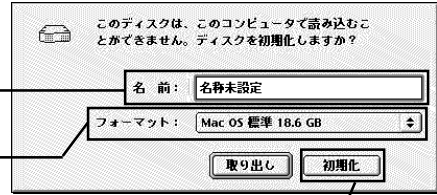
②本製品背面の電源コードをAC100Vのコンセントに接続し、本製品の電源スイッチをONにしてください。

③付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズＢコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。

本製品側
断面が正方形に近いコネクタ

パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

4

④本製品を接続すると自動的に認識され、以下の「ディスクの初期化」ウィンドウが表示されます。必要に応じて設定などを行ってください。

ボリュームに名前を付けたい場合は、ここに入力します。

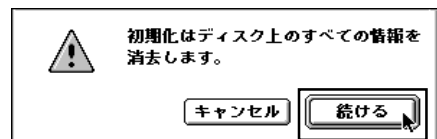
フォーマット形式を選択したい場合はこのプルダウンメニューを開きます。（次ページのポイント参照。）

設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。

ご注意

Mac OS **には本製品を使用するためのドライバが含まれているので、通常は本製品を接続すると標準ドライバが自動的にインストールされ、使用できるようになります。ただし、**Mac OS **や** USB **マネージャのバージョンによっては標準ドライバでは本製品を認識しない場合があります。その場合、下のウィンドウが表示されます。**

このメッセージが表示され本製品が認識されない場合は、４．２節「標準ドライバで認識されない場合」へ進み、USB **ドライバのインストールとハードディスクのフォーマットを行ってください。**

---

⑤以下の警告ダイアログが表示されます。

「続ける」をクリック

⑥フォーマットが開始されます。終了すると新しいハードディスクがデスクトップ上にマウントされます。以上でドライバのインストールとハードディスクのフォーマットは終了です。次回からは、本製品を接続していただくだけで使用可能となります。

Point

ポイント

- **フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。**
- **本製品をUSBインターフェースに接続した際に、フォーマットのダイアログに、「Mac OS」のフォーマット形式と「DOS」のフォーマット形式が表示されるのは、本製品が未フォーマットの状態にある場合のみです。一度フォーマットを行うと、「Mac OS」のフォーマット形式、もしくは「DOS」のフォーマット形式のどちらかしか表示されなくなります。そのため、他方へのフォーマット形式の変更はできなくなりますのでご注意ください。**
- **再フォーマットを行う場合は、メニューバーの「特別」-「ディスクの初期化」をクリックしてください。**

４．２　標準ドライバで認識されない場合

ここでは、本製品が前節の手順で認識されなかった場合のUSBドライバのインストールと、ハードディスクのフォーマット手順についてご説明します。インストール終了後、システムを再起動しますので、すべてのアプリケーションを終了して作業をおこなってください。

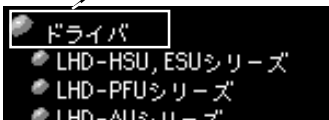
■USBドライバのインストール

①本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。

②「Logitec Ware」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

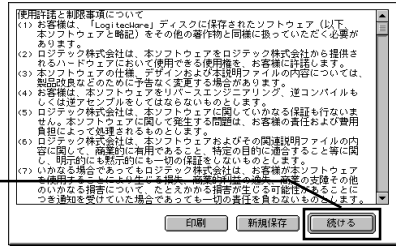
③CD-ROMのウィンドウが開きますので、「Index htm」と書かれたアイコンをダブルクリックして開いてください。

④右のようなウィンドウがブラウザで表示されます。
ここで左のメニューから、「ドライバ」をクリックしてください。

この項目をクリック

⑤メニューの右側に、収録されたドライバの一覧が表示されます。これをスクロールして、「LHD-HU2, EU2 シリーズ USB ディスクドライバ」を探し、「ディスクドライバインストーラ」と書かれた部分をクリックしてください。

この部分をクリック

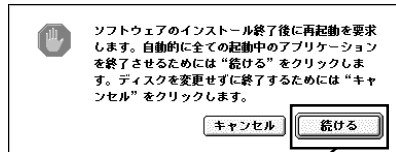
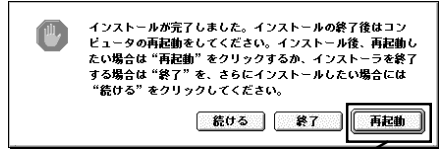
⑥右のウィンドウが表示されます。

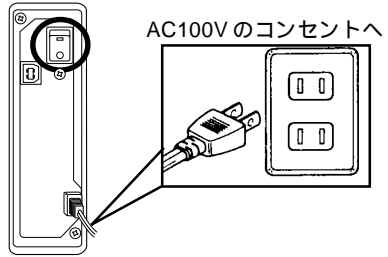
内容を確認して、同意する場合は
「続ける」をクリック

⑦付属のフォーマッタをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

特に支障がない場合はそのまま
インストールをクリック

⑧インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認のメッセージが表示されます。

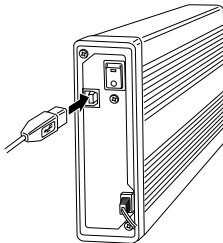
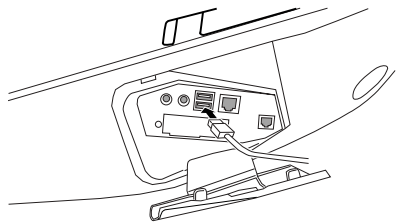
他のプログラムが起動して
ないことを確認したら、
「続ける」をクリック

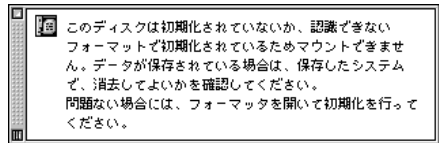
4

⑨必要なファイルが転送され、終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック

⑩システムが再起動したら、ドライバのインストールは完了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。
続いて接続を行います。本製品背面の電源コードをAC100Vのコンセントに接続し、本製品の電源スイッチをONにしてください。

ポイント

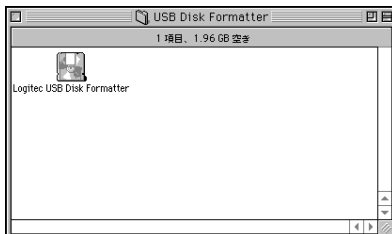
以下の接続は、本製品、パソコン本体の電源がONになっている状態で行います。

4

⑪付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。

本製品側
断面が正方形に近いコネクタ

パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

⑫本製品は出荷時フォーマットされていないため、接続すると右のようなエラーメッセージが表示されますが、これは問題ありません。メッセージウィンドウをクローズしてフォーマット作業へと進んでください。

■フォーマット手順

USB ドライバをインストールした場合、ハードディスクのフォーマットは専用フォーマッタ「Logitec USB Disk formatter」で行います。

①本製品を接続した状態で、ドライバインストール時に作成された「USB Disk Formatter」を開き、「Logitec USB Disk Formattet」アイコンをダブルクリックしてください。

②フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。

本製品は出荷時フォーマットが行われていないため、「フォーマット」の欄に「不明」と表示されます。

内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。

③右下のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行ってください。

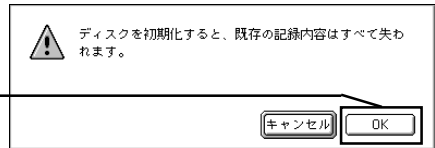
Point

ポイント

- **フォーマット形式は「Mac OS拡張」を推奨します。「Mac OS標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。**

- **再フォーマットを行う場合は、メニューバーの「特別」-「ディスクの初期化」をクリックしてください。**

④確認のメッセージが表示されます。

フォーマットしてもいいことを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

⑤フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、右のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。

⑥以上で本製品のフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。次回からは、本製品を接続していただくだけで使用可能となります。

参考

フォーマッタのウィンドウで表示される「マウント」ボタン、「アンマウント」ボタンは、本製品を強制的にマウント、もしくはアンマウントするためのものです。

- **何かの原因で、本製品を接続してもボリュームが自動的にマウントされない場合は、「マウント」ボタンをご使用ください。**
- **何かの原因で、通常の手段（次節参照）で本製品がアンマウントできなくなってしまった場合は、「アンマウント」ボタンをご使用ください。**

４．３　補足事項

■本製品を取り外す場合は

本製品をUSBインターフェースに接続した場合、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

○本製品を取り外す前には、必ずアンマウントを行ってください。アンマウントは、以下のいずれかの操作で行います。

- ・本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・本製品のアイコンを１回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから「片付ける」を選択する。
- ・本製品のアイコンを１回クリックして選択状態にし、アップルキー＋「E」キーを押す。

○パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

○本製品を取り外す場合は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

■ Windows とのデータ交換について

本製品を DOS（FAT32）形式でフォーマットすると、Windows 環境でも Macintosh 環境でもアクセスすることができます。デジタルビデオ(DV)の動画ファイルなどのように巨大なファイルを異なる環境に移動したいときに便利です。ただし、これを行うときには以下の点に注意してください。

○ DOS 形式でフォーマットされたハードディスクを Macintosh でアクセスするには Macintosh 標準のユーティリティ「File Exchange」が必要です。

○ Macintosh 環境に接続したハードディスクを Windows 環境に再接続して、スキャンディスク（Windows 標準の検査ユーティリティ）を実行すると、必ずエラーが報告されます。このエラーは使用上問題ないものですが、これを「修復」すると Macintosh 環境で致命的なエラーが発生する場合がありますので、**絶対にスキャンディスクでの「修復」は行わないでください。**

○ Windows ／ Macintosh 間でのデータ交換は、**あくまで一時的なデータ移動のみに留めておいてください。** MacOS 本来のファイルシステムでないディスクにアクセスするため、恒久的な保存用途には適していません。また、データ以外のアプリケーションなどをこのディスクに保存することは行わないでください。

4

ご注意

本製品を USB インターフェースに接続する場合、フォーマットのダイアログに、「Mac OS」のフォーマット形式と「DOS」のフォーマット形式が表示されるのは、本製品が未フォーマットの状態にある場合のみです。一度フォーマットを行うと、「Mac OS」のフォーマット形式、もしくは「DOS」のフォーマット形式のどちらかしか表示されなくなります。そのため、他方へのフォーマット形式の変更はできなくなりますのでご注意ください。

第５章　補足事項

５．１　トラブルシューティング

●本製品を接続したが認識されない。

○電源スイッチの状態、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。
○ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
○ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
○本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンの USB ポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。

●本製品からシステム起動ができない。

○本製品からのシステム起動はサポートされていません。

●本製品の物理フォーマットができない。

○本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット（通常のフォーマット）のみでご使用ください。

5

● Windows XP，2000 で「ディスクの管理」が起動できない。

○「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つグループ（例えば「Administrators」グループ）のメンバーとしてログオンしていなければなりません。

●特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で本製品を使用できない。

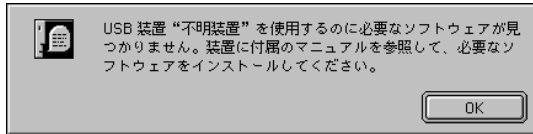
○一部のユーティリティソフトウェアでは、USB や IEEE1394 のようにホットプラグ対応のインターフェースで接続したハードディスクを動作対象としていない場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせて、そのソフトウェアが USB 接続のハードディスクを動作対象としているかどうかを確認してください。

●スリープ状態から復帰できない。

○パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。
アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能を OFF にしてご使用ください。

●データの転送速度が遅い。

○ USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。
○USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps）までとなります。High-Speed（480Mbps）でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。
○パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェースボード（PCI 用インターフェースボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード）を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

● Macintosh シリーズで本製品を接続すると、以下のようなエラーメッセージが表示される。

○本製品のドライバがインストールされていません。第４章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

5

● Macintosh 環境で本製品のドライバをアンインストールしたい。

○システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

USB-40 Driver
USB-40 Shim

●その他：弊社ホームページについて

○弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また､｢サポート情報｣では｢お問い合わせ用紙｣や｢修理依頼書｣などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：http://www.logitec.co.jp/